

黒潮の流れで 船を動かす

電気船



黒潮の流れで発電し、電気船に電気を供給する

2年 S君

日本の黒潮の流れる海底に発電機を置き、流れで発電

黒潮→



発電した電気を船を充電するステーションへ

電気船CANDELA

約2400万

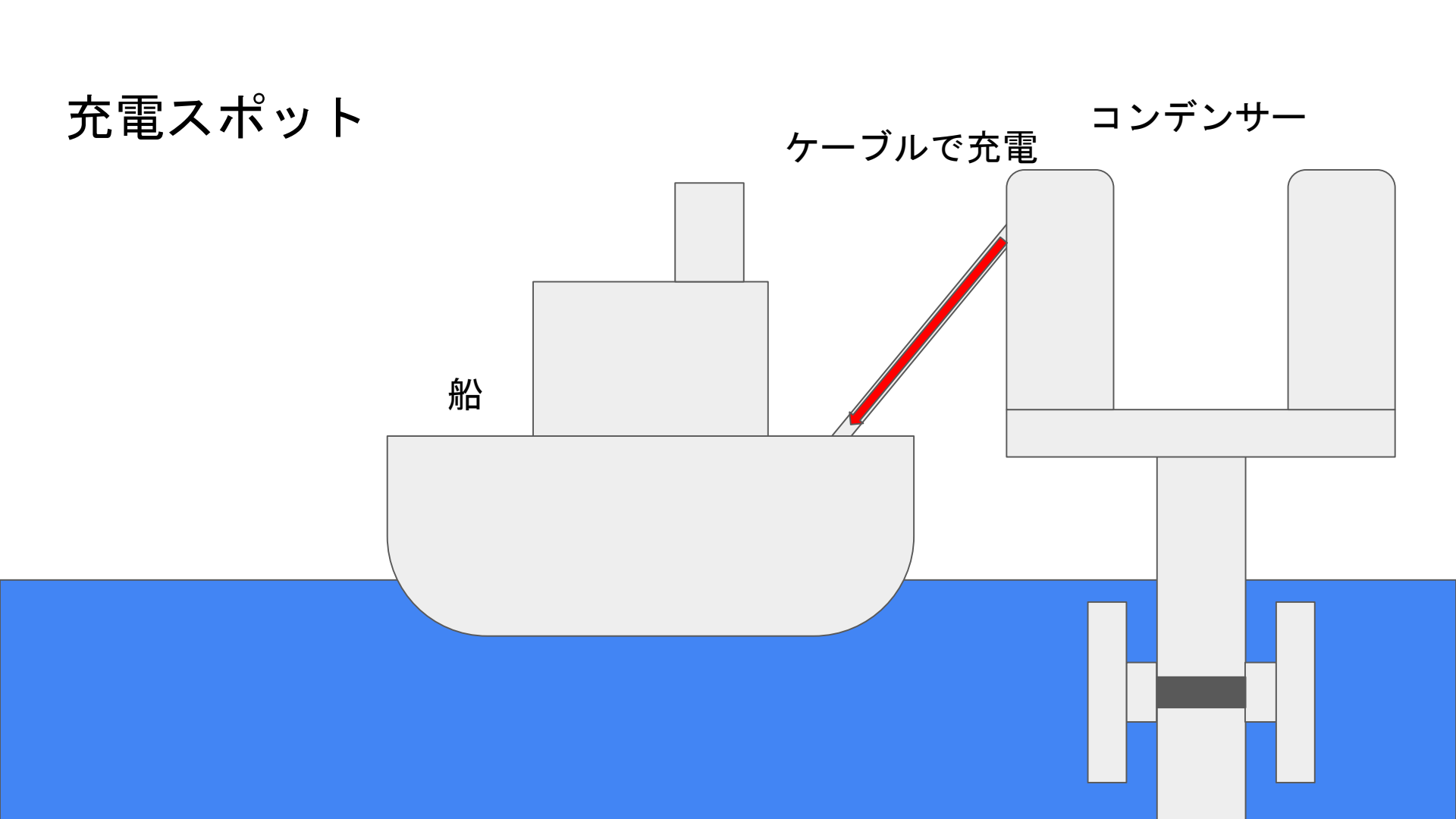


充電スポット

ケーブルで充電

コンデンサー

船



必要なもの



チタン合金

1kg
約1500円



チタン製
タービン
約40万円



チタン製ケーブル 作る場所から充電スポットまで

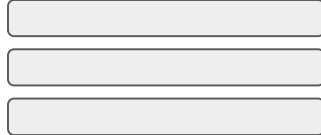
浮力材 1kg約2000円
発泡ポリエチレン



チタン製ワイヤー 長さは海の深さによる



つくり方



プロペラ



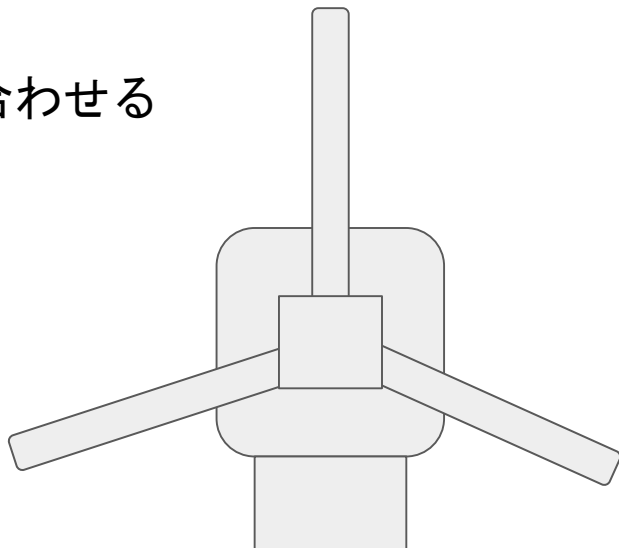
タービンを入れたパーツ



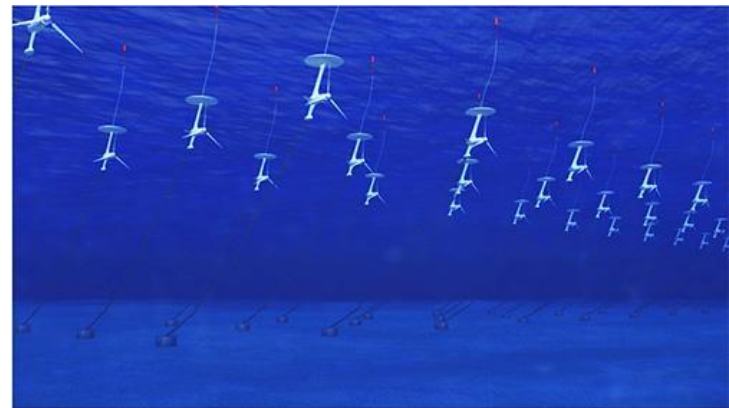
柱

1・チタン合金で形を作る

2・合わせる



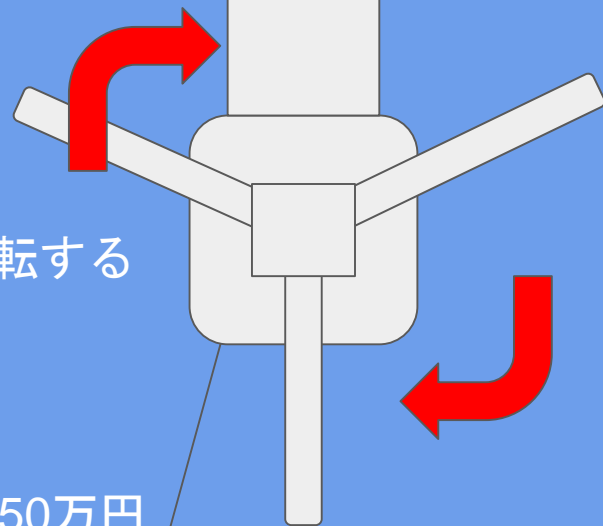
3・ワイヤーでつなげる



4・浮力材をつける

プロペラが海流で回転する

合計250万円



5・ケーブルをつなげる

完成

メリット



- ・ 無くなる心配がない
- ・ たくさん発電でき、なくなるしない
- ・ 安くてパーツ数が少ないので簡単に量産できる



安全性

海水に強いチタン合金で造られているので安全性は高い

チタン製潜水艦



環境への負荷

海流なので環境への負荷はかからない

海流



経済性

価格・約250万円

チタン合金は耐久性が高いため、発電量で元が取れる



まとめ

この発電方法によって
電気船が幅広く活躍し
船による環境への負荷が
なくなります！

